

厚木ユネスコ協会青少年ボランティアグループ主催



Cambodia Co-Action tour 2013

Days:2013/8/19~2013/8/25



カンボジア王国



日本からおよそ10時間前後(乗り継ぎ含む)
時差 2時間



基礎情報

国名:カンボジア王国(1993年9月24日建国)

領土:181,035km²

首都:プノンペン

人種:クメール(90%), ベトナム系及びチャム系(5%), その他(5%)

人口:1,339万人(男性49%、女性51%)

ポル・ポト時代の虐殺や内戦の影響で若年者人口の比率が高く、15歳未満の人口が全人口の38.7%を占めている。

宗教:上座仏教

政治体制:立憲君主制

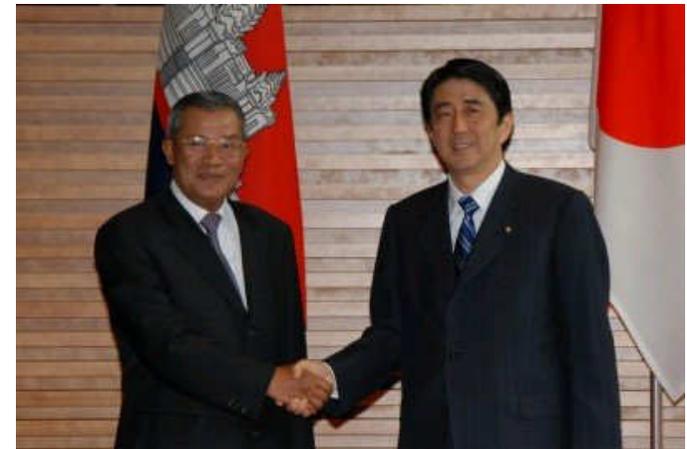
国家元首:ノロドム・シハモニ国王

行政府:議院内閣制

首相:フン・セン(1985年～)



ポルポト氏



フンセン首相と阿部首相



←実際に埋まっていた地雷
手前:対人用
奥:対戦車用



ツアースケジュール

- 2013/8/17 日本出発 シェムリアップへ 23:00 シェムリアップ到着
- 8/18 孤児院 AKIRA Orphanage Center訪問
- 8/19 アンコール遺跡群見学、プリア・コー修復現場見学
- 8/20 リハビリテーション施設(Siem Reap Physical Rehabilitation Center)訪問、
山本日本語学校、アプサラダンス教室訪問
- 8/21 BEK CAM PLEUNG公立小学校及び農村訪問、ゴミ山視察
- 8/22 カンボジアユネスコ事務局へご挨拶、寺子屋訪問
- 8/23 寺子屋で協働事業(ホテイアオイを使ったカゴバッグ作り)
- 8/24 オールドマーケットでショッピング
シェムリアップ出発
- 8/25 12:00 日本到着

1日目 AKIRA Orphanage Center

カレー作り



歌を歌ったり、アイブレをしたり!
別れ際には涙あり...

2日目 アンコール遺跡群見学



プリア・コーの修復現場へ
唯一、カンボジア王国が修復を行っている遺跡



丁寧にはめ込んでいく！



レンガを一つ一つ砕き...



完成！

3日目・午前 病院訪問

☆私の希望により訪問

数多くの地雷が現在も埋まっている。
その犠牲者も多い



3日目・午後 山本日本語学校 アプサラダンス体験



4日目 小学校訪問、ゴミ山視察



5・6日目 トンレサップ湖の 水上寺子屋



私たちは毎晩、MTGを行い、考えの共有を行いました。

**その中でメンバーから挙げた印象に残っている体験を
1つご紹介致します。**

それは、1日目の孤児院で、
交流を深めるためアイブレを行った時の出来事...。



突然ですが、、、

皆様はお気づきですか？

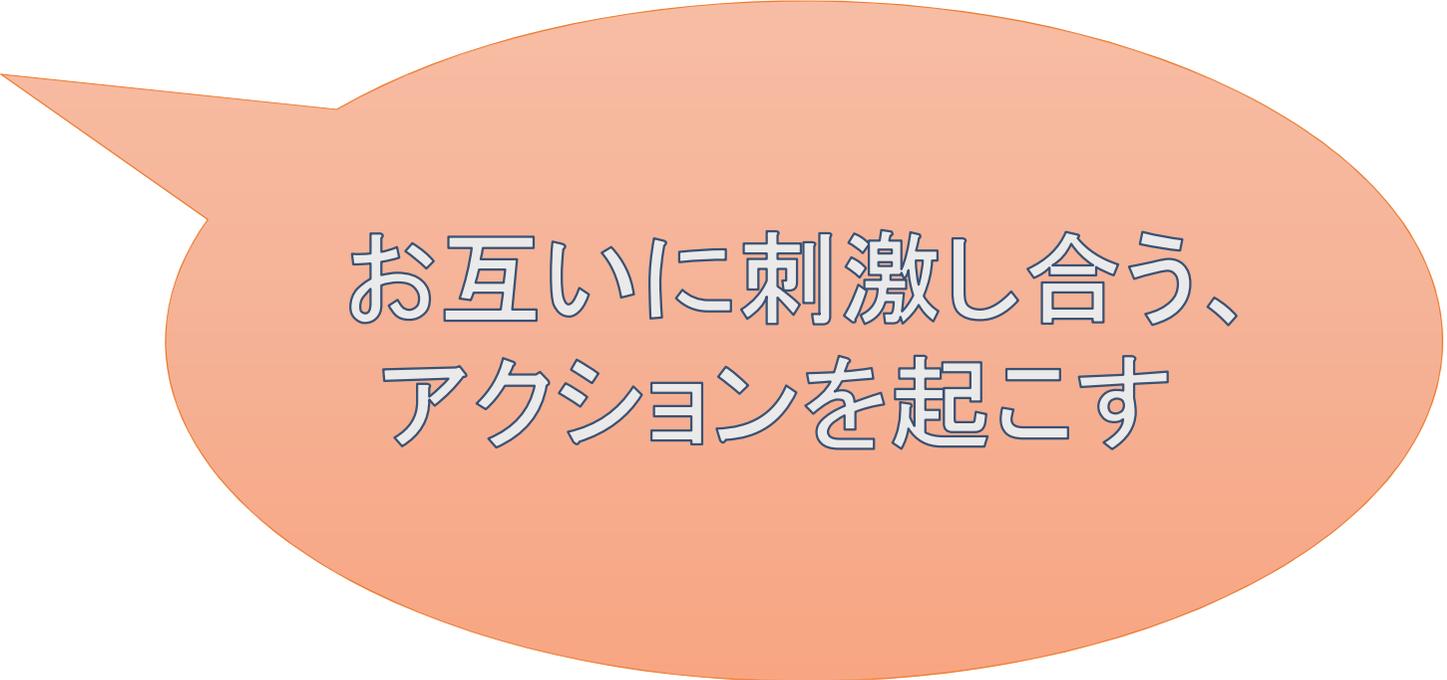
Study tourではなく、

Co-Action tour ! !

私たちに出来ることはないだろうか？

コーアクション

Co-Action



お互いに刺激し合う、
アクションを起こす

収入向上プロジェクト

①畜産業

②伝統音楽・舞踊クラスの実施

③水草のバック作り

カンボジアにたくさんある！！！！

水草 **ホテイアオイ**



問題点

単価が安い

生産量に限界がある → 大きな収入源になりにくい

バック以外のものを作りたい！！！！
家具にも挑戦したい！！！！



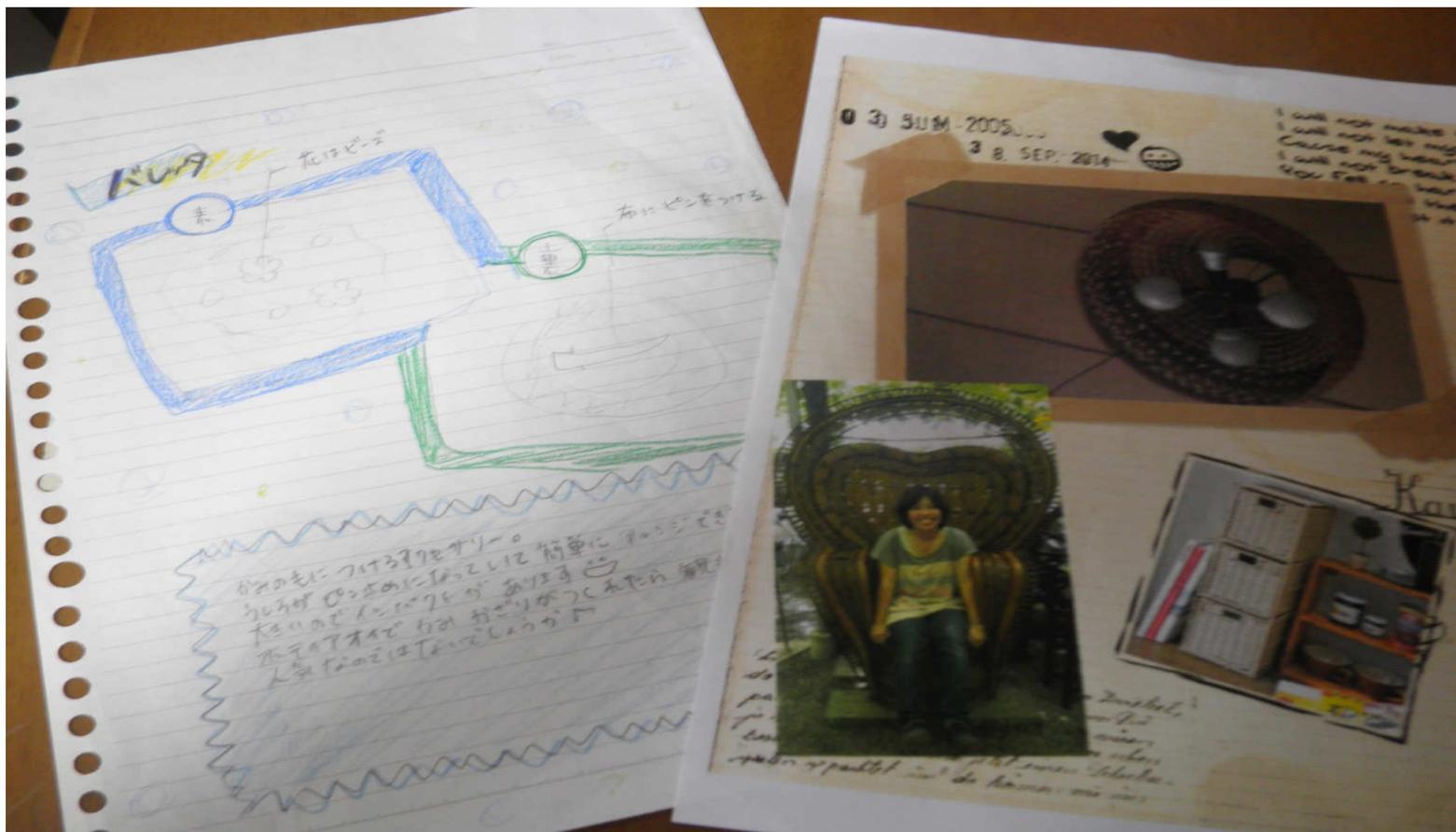
そんな気持ちに応えたい！！

デザインブック

『きらきら』の紹介

『きらきら』ができるまで

レイアウトを考える



完成!

Handwritten Burmese text at the top left: မြန်မာ့အလင်းစာပေ

Handwritten Burmese text at the bottom of the left page:

မြန်မာ့အလင်းစာပေ
မြန်မာ့အလင်းစာပေ
မြန်မာ့အလင်းစာပေ
မြန်မာ့အလင်းစာပေ

Handwritten Burmese text in a speech bubble on the right page:

မြန်မာ့အလင်းစာပေ
မြန်မာ့အလင်းစာပေ
မြန်မာ့အလင်းစာပေ

『きらきら』のこだわり

背景画



バッグ



ファッション



小物



家具



事務局にて発表！

慣れない英語でCo-action tourの目的やきらきらについて発表を行いました。



寺子屋にて発表！

ガイドさんが
クメール語で通訳



感想

聖也

- ・将来の夢のため、このツアーを通してやるべきことを見つけた
- ・カンボジアは想像していたような貧しい国ではない

百恵

- ・子どもたちに沢山の愛情を注ぎたい
- ・カンボジアは優しい国だった
- ・将来やりたいことのヒントが見つかった

美恵子

- ・たとえゲストだとしても、ホストと同じくらいの心配りを。全員が忘れずに実行していた。
- ・頭と身体と心を尽くせる活動を重ねて、少しでもユネスコ精神を波及できたらいいな。

謝辞

ツアーガイド パークン・アッチャナーン
ドライバー レイさん

日本ユネスコ協会連盟

日本ユネスコ協会カンボジア事務局

厚木ユネスコ協会

カンボジア観光省 etc...

Co-Action tourにご協力頂いた全ての方々に
心より御礼申し上げます。



ご静聴ありがとうございました。

